

飛翔 2020



令和2年度 第2号 5月28日発行

大野高校通信

発行責任者 校長 中野達博

生徒総会 5/21(木) 延期していた生徒総会を時間を短縮するなど感染対策を行い実施しました。今年度の生徒会活動などについて紹介します。



令和元年度後期～令和2年度前期生徒会スローガン

NEXT STAGE

～さらなる高みを目指して～

このスローガンには、自分が進みたい道に向け意欲を高めて次のステージに突き進んで欲しいという意味が込められています。
 高校生活には、学習や部活動、進路活動、行事など他にもたくさんやるべき事があります。昨年度後期にこのスローガンを設定しましたが、生徒の皆さんは“やるべき事”に意欲を高めて取り組めたでしょうか。取り組めた人もそうでない人もいます。他人を褒めるより自分の意欲を要えることの方がはるかに簡単です。
 次のステージへと進んでいけるよう努力を惜しまず活動していきましょう。

生徒会執行部

役員	学年	氏名
生徒会長	3年	三本木 虎也
副会長	2年	大村 愛果
	3年	小田 光莉
執行委員	2年	米内 麻斗
	3年	下平 駿
会計	2年	葛谷 優和
	3年	森澤 ひより
会計監査委員	2年	中屋敷 裕太
	3年	石橋 架音
応援団長	3年	葛谷 和己
応援団副団長	2年	森澤 大和
	3年	泥 淳翔太

【生徒会長あいさつ】 3年 三本木 虎也

今年度は新型コロナウイルスの影響でさまざまな行事が中止となりました。そんな中で、第1回生徒総会を開催することができました。これは、一人ひとりが感染拡大しないように意識して行動できた証拠だと思います。今回の生徒総会は、例年よりも質疑応答が少なかったと感じました。今のような大変な状況だからこそ大野高生には、何が出来るかを考えて行動できる力を身につける必要があります。今回出された質問・意見を参考に、生徒一人ひとりがより一層の向上心を持ち、よりよい学校づくりをしていきたいです。そのためには、地域の皆さんのご協力も必要だと考えていますので、これからも温かく見守っていただけると幸いです。これからもよろしくお願いします。

令和2年度支援員紹介

本校では、昨年度に引き続き「いわて特別支援教育かがやきプラン」の支援員が配置となり、授業で生徒の学習活動をサポートしています。

支援員 川崎純奈



昨年から引き続き、今年も支援員として皆さんのサポートをさせていただきます。皆さんのキラキラと輝く高校生活を見守れることをとてもうれしく思っています。

よろしくお願いします。

第1回PTA役員会 4/22(火)



令和2年度大野高校PTA

役職	氏名	生徒名	備考
会長	坂久保 了	3A 淳	3学年
副会長	小倉 政彦	3B 智也	3学年
	三上 幸子	2A 恋奈	2学年
監査	太内 田賢	1A 純依	1学年
	七ツ 役 恵	3A 晴紀	3学年
	清水 浩之	2A 七海	2学年
	高際 光栄	1A 得大	1学年

24名のPTA役員の皆様に出席いただき、昨年度の活動経過・会計決算、今年度の事業計画・予算と役員改選、そしてPTA総会開催についてご協議いただきました。ご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症対策のため、PTA総会は中止し、協議内容は書面議決で承認をいただきました。

第1回学校評議員会 5/13(水)



令和2年度大野高校学校評議員

氏名	所属等
権谷真理子	大野明戸地区婦人会長
南 隆人	大野中学校長
松浦 律子	林郷小学校支援員
野田 大介	特別養護老人ホーム 久慈平荘副施設長
小路合清孝	元役場職員

学校評議員5名にご出席いただき、学校運営について、質問・意見をいただきました。

主な話題

- 高校の魅力化促進事業、小規模校ならではの魅力、中学校との連携について
- ビジネスコース、就職希望者の指導、早期離職について
- 講演会、地域見学学習について
- 県外志願者受入について
- ※詳細はホームページに掲載しています。

登校指導 5/8(金)



PTA 交通安全委員と生徒会交通安全委員会による登校指導を行い、登校する生徒と挨拶を交わし、交通安全を呼びかけました。

「町づくり講演会」5/15(金) 1年 総合的な探究の時間

講師 一般社団法人大野ふるさと公社 事務局長 竹高昭徳 氏
大野キャンパスの歴史を中心に大野の町づくりについてお話しいただきました。

【生徒感想】町の人たちが提案して大野キャンパスがつくられたことを聞いて驚きました。大野の町づくりは、町民を支えるため、地域の人たちとの協力、町を人の思いがあつてこそ町づくりだと思いました。たくさんの豊富な資源や環境があつたからこそ、ここまで大きくなってきたのだと思います。地域活性化について、もしできるなら町の人にアンケートを取ったり、小中高の人たちと協力して新しいことに取り組むのも楽しそうだなと思いました。

【令和元年度学校経営計画達成状況等】

令和元年度 学校経営計画達成状況

- 令和元年度の教育活動について
 - 教育活動
 - 不登校傾向の生徒を含む多様な生徒に対して、きめ細やかな学習指導・生活指導を行うとともに、個に応じた特別な支援を実施し生徒の進級、卒業につなげた。
 - いじめ防止対策委員会を中心にいじめの未然防止、早期発見・解消に努めるとともに、スクールカウンセラー等と連携した教育相談を進め、学校事故や問題行動を防止し、生徒の健全な学校生活を支えた。
 - 3年間を通じたキャリア教育を行うとともに、進路志望別の外部講師による受験対策と全職員による個別の受験指導を実施し、生徒の進路目標の実現を支援した。国立大学合格者2名。
 - 学校運営

生徒数減少、教員の定数減に対して、生徒の教育活動を充実させ、教育の質を保障するために、行事内容やPTA活動などの見直しや部活動の再編成、他校との交流(部活動合同チーム、生徒会執行部交流など)を進め、多様な教育活動を維持した。
 - 生徒募集

年度当初から希望者が少なく、地域の中学校との連携を中心に広報活動に努めたが志願者数は伸びなかった。来年度は、地域中学校との連携を進め、生徒による本校のアピールを含め、広報活動を強化していきたいと考えている。
- 「重点目標毎の達成指標」の達成状況については、ホームページに掲載しています。

令和元年度卒業生の進路状況

令和2年9月31日現在

種別	進路別		進学者内訳										就職者内訳		地域別就職内訳								
	進学	就職	短大	専攻科	短大	医療	専攻科	短大	医療	専攻科	短大	医療	専攻科	短大	医療	専攻科	短大	医療	専攻科				
男	6	0	7	0	2	0	0	4	3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3
女	12	0	2	1	2	2	3	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	18	0	9	1	4	2	3	9	3	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	5
合計	28		18(64.3%)										9(32.1%)		9								

卒業生の進学・就職先

○進学

〈大学〉

- 岩手大学(理工学部) 埼玉東亜短期大学(幼児保育学科)
- 訓練公立大学(経済学部) 清和大学短期大学部(こども学科)
- 東北学院大学(文学部)
- 盛岡大学(文学部)

〈専門学校等〉

- 岩手県立二戸高等看護学院
- 岩手県立二戸高等技術専門学校 建築科
- 岩手リハビリテーション学院 作業療法学科
- 専門学校日本医科大学 視能訓練士科
- 八戸保健医療専門学校 スポーツ整整学科
- 八戸工科学院 自動車システム工学科
- 北日本ハイテクニカルカレッジ 調理科
- 北日本ヘア・スタイリストカレッジ 美容科
- 仙台医療秘書専門学校 診療情報管理士科
- 仙台大原簿記情報公務員 総合公務員学科
- 仙台大原簿記情報公務員 ビジネス学科
- 東北外語観光専門学校 エアライン科

○就職

〈管内〉

- 沢コンクリート工業(株) 2名 (県内) アイ・ティー・エックス(株) 東日本本社
- 社会福祉法人山形福祉会

〈県外〉

- 三島光産(株) 鹿島事業部 (株) ユーニック
- アートコーポレーション(株) (株) グリーンハウス
- グリーンホスピタリティフードサービス(株)

【御礼】

町議会議員の南一郎様から新型コロナウイルス感染症対策の支援として、消毒液をいただきました。給食時の消毒を中心に使わせていただいております。大変ありがとうございます。

【令和2年度学校経営計画 重点目標】

今年度は、改めて「地域に信頼される学校づくり、魅力ある学校づくり」を重点目標に加え、情報発信や大野中学校との連携をさらに進め、生徒募集に繋げたいと考えています。

※ 現状、教育目標等を含む「学校経営計画」の原本はホームページに掲載しています。

令和2年度 岩手県立大野高等学校経営計画

3	重点目標	達成指標
3	(1) 今年度の重点目標	<p>ア 基礎基本を定着させ、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒の育成を目指す。</p> <p>イ キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。</p> <p>ウ 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。</p> <p>エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止。</p> <p>オ 地域に信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりに取り組む。</p>
	達成指標	<ul style="list-style-type: none"> 授業に関するアンケート調査 満足度 総ての項目総合での教員で平均 85%以上 校内調査で平日の家庭学習 全体平均で 1時間 15分以上 キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する 3年進路達成率 100% 国立大学・短大合格達成 学校評価で「自己有用感の醸成」について 生徒及び保護者満足度 できている割合 90%以上 PTA役員参加率 80%以上 学校評価で生徒及び保護者の満足度 「生徒に寄り添う姿勢の生徒指導」 できている割合 80%以上 学校評価で生徒及び保護者の満足度 「いじめ防止の取組」 できている割合 85%以上 学校評価で「学校生活への満足度」について 生徒及び保護者満足度 80%以上 定員の半分を超える志願者
取組方針	(2) 取組方針	<p>ア 基礎基本を定着させ、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ生徒の育成を目指す。</p> <p>(7) 学習者の計画的な指導や授業改善、学習の振り返り、家庭学習への主体的取組を促し、基礎的基礎的学力の定着及び「思考力・判断力・表現力の育成」を目指す。</p> <p>(4) わかりやすい授業に努め、生徒の学習活動を工夫するとともに、観点別評価を活用して、生徒が価値を感じ、課題解決に向かう力を育成する。</p> <p>(5) ICT機器の授業での活用を進める。</p> <p>(2) 進路教育推進事業の活用について研究する。</p> <p>イ キャリア教育を通して生徒に人生設計力を培い、一人ひとりの進路実現を支援する。</p> <p>(7) 生徒の進路希望を実現するために、優々の特徴や能力を把握し、発達段階に応じた計画的な課題を設定する。</p> <p>(4) インターンシップやLHR、総合学習等を通じて、主体的に進路を選択し、決定できる能力を育てる。</p> <p>ウ 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。</p> <p>(4) 地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成する。</p> <p>(4) 「いきる、かかわる・そなえる」の視点に立ち、行政、家庭、地域と連携し、地域防災の担い手の育成と生徒が地域課題に関心をもち、その解決に取り組もうとする態度を育成する。</p> <p>(4) 地域行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚と、自己有用感を持って地域の活性化に貢献する人材を育成する。</p> <p>エ 生徒の「居場所づくり」と「働きづくり」の推進(未然防止)</p> <p>(7) 自他の生命とお互いの人権を尊重し、大切にすることをめざす。</p> <p>(4) いじめ問題に対して組織的に対応するとともに、生徒の困り感を把握し、総ての教職員が親身になって話を聞く姿勢を持つ。</p> <p>(7) 生徒の心と体の健康状態に配慮し、SC、支援員、関係機関と連携し、生徒一人ひとりを組織的に支援する。</p> <p>オ 地域に信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりに取り組む</p> <p>(7) 大野中学校との連携を推進するとともに、生徒、卒業生が中学生と活動(交流)する場を設定する。</p> <p>(4) 他校生との交流を推進し、生徒による魅力ある学校づくりに進める。「高校の魅力化促進事業」へ取り組む。</p> <p>(4) 学校からの情報発信を通じて、学校の取組について広くアピールする。</p> <p>(2) コンプライアンスの徹底を図り、明るい職場づくりを進める。</p>